

平成 2 5 年 度 決 算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 2 6 年 6 月

鳥取看護専門学校

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	収入証紙取扱額調べ	6
8	収入事務処理状況調べ	7
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8
11	不納欠損額調べ	8
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9
14	財産に関する調べ	9
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	11
19	寄附物件の受納状況調べ	11
20	備品の処分状況調べ	12
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12
22	当該年度における業務の概要	13
23	学生の入退学等移動状況調べ	13
24	学校卒業者の就職等状況調べ	13
25	教育計画とその実績	13
26	主な施設の整備状況調べ	14
○	意見、要望等	14

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
物品（DVD「人工呼吸ケア第3巻」外8件）について、庶務集中局が取得の手続をすべきところを出納機関で分割して取得の手続をしていた。	<p>1 原因 学校内には事務職員がいないため、事務手続きに不慣れな技術職（看護教員）が、物品購入に係る手続きを承知せず購入したことが原因である。 本校では、5万円以上の物品を購入する際、あらかじめ東部会計分室（現東部県税事務所）に物品請求書の作成を依頼するが、それが事後となっていた。</p> <p>2 処理方針 県会計規則、物品事務取扱規則等を承知し、規則等に沿った手続きを行う。</p> <p>3 再発防止策 今回の指摘内容を所属内で情報共有するとともに、物品の購入前には東部会計分室へ事前連絡を行い、物品の購入に必要な助言、知識を得たうえで適切に手続きを行う。</p>

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
鳥取看護専門学校	—	看護師として必要な知識及び技術を習得させるための事務を所掌する。
	—	
	—	

4 職員の定員、現員調べ

（平成26年4月1日現在）

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
		当 該 年 度	25.4.1 現 在	当 該 年 度	25.4.1 現 在	当 該 年 度	25.4.1 現 在	当 該 年 度	25.4.1 現 在	
	定 員	0	0	9	9	0	0	9	9	
	現 員	0	0	9	(1) 9	0	0	9	(1) 9	育児休業1名(講師) H25.4月~5月1名
	過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	臨 時 職 員									
	非 常 勤 職 員	1	1	6	8	0	0	7	9	事務員1名、内部講師1名、外部講師5名

5 役付職員の調べ

(平成26年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
校 長	(併) 日 野 理 彦	年 2	月 2	中央病院院長
副 校 長	藤 田 さとみ	1	2	
教 務 主 幹	聲 高 郁 子	1	2	通算：3年2月
課 長 補 佐	(兼) 奥 田 雅 裕	3	2	出納員 本務：東部県税事務所課税課 庁舎管理・総務担当課長 補佐

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>鳥取看護専門学校 管理運営費</p> <p>決算額 23,752千円</p> <p>(財源内訳) 使用料及び手数料 13,994千円 その他 21千円 一般財源 9,737千円</p> <p>[繰越] 鳥取看護専門学校等 冷暖房設備改修費</p> <p>決算額 36,647千円</p> <p>(財源内訳) その他 36,647千円</p> <p>鳥取県地域医療再生 基金事業(医療政策 課)</p> <p>決算額 6,716千円</p> <p>(財源内訳) その他 6,716千円</p>	<p>1 教育内容の充実</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 看護を取り巻く環境の変化に伴い、教育内容の充実と、学生の看護実践力を強化する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①新カリキュラムの円滑な実施 教育計画に沿って新カリキュラムでの教育を行った。(4年目) 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野の5分野で100単位、3,015時間の講義や実習を外部講師の協力も得て実施</p> <p>②臨地実習の充実 実習施設(45箇所)の指導者との連携を図り、スムーズな実習を展開</p> <p>③PBLテュートリアル教育(課題解決型学習)の推進 本校の特徴的な学習方法である課題解決型学習を推進するため、県外の先進地視察を行い、教育方法の検討・改善を図る</p> <p>④学内における看護技術演習の充実 演習における技術試験(8項目)の技術チェック体制を強化</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○教育内容の改善を目的に、PBLテュートリアル教育の先進地視察を実施し、本校の授業科目「統合分野：看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ」の教育方法等の検討を行い、改善に役立てた。 また、患者体験から学ぶことを目的として、難病患者やその家族の思いを拝聴し、看護者に必要とされる対応のあり方を学んだ。</p> <p>○看護実践力の強化を図るため、看護技術演習における技術試験の技術チェックを外部指導者にも依頼し、指導体制を強化すると共に技術演習に必要な教材備品の整備を行った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>○PBLテュートリアル教育の検討を実施し、教育方法や評価票、グループワークの進め方等を改善することができた。</p> <p>○学内看護技術演習の指導者を増員したことで、指導体制の強化を図ることができた。また、装着型静脈注射トレーナー、筋肉内注射モデル等の教材を整備したことで、学生の看護実践力の向上につながった。</p> <p>エ 課題</p> <p>①PBLテュートリアル教育を学校全体で取組むためには、教員の力量形成が必要であり、学内研修や県外研修を強化すると共に、学生指導の充実のため、グループワークの指導者の配置を手厚くする必要がある。</p> <p>②実習施設との連携は、今後も継続して行う必要がある。</p> <p>2 看護師国家試験対策の強化</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 看護師国家試験対策の充実を図り、合格率を高める。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①模擬試験、補習講義を実施した。 3年生： ・模擬試験 9回実施 ・補習講義 16時間(解剖学・循環器・内分泌・肝臓) ・模擬試験結果を保護者に通知し、受験勉強への協力を依頼した。</p>	

事業名	概	要
	<p>2年生 ・模擬試験 3回実施</p> <p>1年生 ・模擬試験 1回実施</p> <p>②国家試験対策の教員研修へ継続参加する。</p> <p>③平成20年度から国家試験の出題方式が変更され、難易度が高くなっている。個人面談を行い学習計画の立案、模擬試験結果の分析を実施し、弱点補強を行った。</p> <p>④保護者を対象に、学校生活・臨地実習・国家試験への取り組み・進学就職について情報交換会を開催した。 (1～3年生保護者：平成25年7月23日(火)46名出席)</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 低学年の学習が、実習や国家試験の可否に大きく関係するため、1年次より国家試験の模擬試験を導入し、動機付けを行った。</p> <p>ウ 成果 国家試験結果 ・平成23年度卒業生33人受験、合格者33人(100%) ・平成24年度卒業生46人受験 合格者44人(95.6%) ・平成25年度卒業生42人受験 合格者41人(97.6%)</p> <p>エ 課題 ①3年次は、臨地実習等の学習と国家試験の学習を並行することが難しい。1年次より学習方法の指導を行い、自ら学ぶ学習姿勢を身に付けるよう指導する必要がある。 ②教員が教員研修の成果をもとに年々難しくなる国家試験に対し効果的な対策を立案する。</p> <p>3 学生の確保及び学習支援体制の強化 ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 入学定員40名を確保するとともに、優秀な人材の育成を行う。 (イ) 事業の実施状況 ①入学定員の確保 オープンキャンパスによる学校PR、推薦指定校の訪問説明を開催すると共に推薦入試、社会人入試及び一般入試を実施した。 ○オープンキャンパスの実施 看護学校への進学を希望する高校生や保護者、社会人を対象に、学校の概要説明や施設見学、モデル人形等を用いた看護技術体験を行った。 実施日6月29日(土) 参加者102名(平成24年度115名) ○推薦指定校(10校)の進路担当者との訪問懇談 推薦入学試験及び看護教育の動向について説明し、意見交換を行った。 実施日7月下旬～8月上旬 ②学習支援体制の強化 ○学年担当教員による定期的な面接の実施 ○スクールカウンセラーの利用促進のためカウンセラーによる講話を企画 ○保護者会を開催し、学校と保護者との連携を強化 ③単位未修得者への学習支援 単位未修得者に対して、既習の科目の聴講制を継続した。また、全学生に対し「履修届」を提出させ、学習への動機付けを行った。</p>	

事業名	概	要
	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>①学校案内、PR用グッズを作成すると共に、ホームページに受験倍率の推移等を掲載し、情報提供に努めた。</p> <p>②推薦指定校を9校から10校に拡大し、優秀な人材の確保を図る。</p> <p>ウ 成果</p> <p>①入学定員の確保が可能となった。</p> <p>平成25年度入学試験（26年度入学生） 応募者：134名（うち推薦11名、社会人18名） 入学者：40名（推薦11名、社会人2名、一般27名）</p> <p>②留年者の減少を図ることができた。</p> <p>年度当初：4月在校生 119名 年度末：卒業者 42名、在校生 77名</p> <p>エ 課題</p> <p>①平成26年度入学生は、定員の確保が可能となったが、一般入試の上位は大学に進学する者が多く入学生の確保が難しい現状にある。 次年度は、推薦・社会人入試の見直しを行い、優秀な人材確保と入学定数の確保をさらに努力する必要がある。</p> <p>②単位が取れない学生への学習支援及び精神的サポートが必要である。また、自ら学ぶ姿勢を育む必要がある。</p> <p>4 県内就業の促進</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内就業を促進し、県内の看護職者の充足に努める。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 就職ガイダンス・県内医療機関等の就職情報の提示 4月に鳥取県看護職員修学資金制度について、積極的にPR 臨地実習指導の充実を図り、県内医療機関の魅力をアピール 学年担当者による進路指導・相談をきめ細やかに実施 就職に関する特別講義（2回：面接試験の秘策・話し方講座）の実施</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○学校長と学生の語る会を開催し、東部医療圏の医療の現状や展望について、話し合いを行った。</p> <p>○学生が自信を持って、就職試験を受験できることを目的に、特別講義（2回）を企画した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>○卒業者数は、42名（就業者：35名、進学者6名、その他1名） 就業者35名中、県内就業者30名（県内就業率：85.7%）</p> <p>○就職試験（面接試験）の心得や身だしなみ等の講義を受講したことにより、学生から就職試験に自信が持てたとの意見が多数あった。</p> <p>エ 課題</p> <p>県内出身者の県内就業率90%を目標とする。 学年担当による個別面接や臨地実習等を通して、低学年から進路について考えるよう指導する。</p>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成26年5月31日現在)

収入科目			件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節	細節				
衛生手数料	衛生手数料	看護師等養成施設入学料	38	円 5,550	円 210,900	
		看護師等養成施設試験手数料	134	2,600	348,400	
		看護師等養成施設卒業証明書発行手数料	29	420	12,180	
合計					571,480	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成26年5月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
衛生使用料	鳥取看護専門学校授業料		1,428	13,423,200	13,423,200	0	0	鳥取県立看護師等養成施設の設置及び管理に関する条例	
合計			1,428	13,423,200	13,423,200	0	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成26年5月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入		平成25年度複写機電気料(後援会設置分)	1	261	261	0	0		
雑入		非常勤職員雇用保険料本人負担分	27	23,593	23,593	0	0	雇用保険法	
合計			28	23,854	23,854	0	0		

(6) 現金の取り扱い状況 該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成26年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額 (円)	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
(鳥取看護専門 学校費)								
支出額が10万円 未満のもの						10,000		
目 計						10,000		
合 計						10,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成26年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単果 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等		完了			支出の状況			備考
				当 格	契約 額	契約 期間	年月日 (契約締結 年月日)	年月日 (契約締結 年月日)	年月日	年月日	区分	年月日	金額		
														変更	
				額	額	額	額	額	額	額					
(鳥取看護専 門学校費)															
予定価格が 20万円未満 のもの													263,600		
目計													263,600		
合計													263,600		

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成26年3月31日現在)

行政・ 普通財産 の区分	機 関 名 又 は 施 設 名 等	所 在 地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考				
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日		面積 (㎡)	価額 (円)		
行政 財産	鳥取看護専 門学校	鳥取市江津260	1,468.58	205,727,434	増加	H									
					減少	H									
行政 財産	自転車小屋	鳥取市江津260	19.05	3,267,600	増加	H									
					減少	H									
合計			1,487.63	208,995,034									1,487.63	208,995,034	

- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況
(平成26年3月31日現在)

種別	前年度末 円	本年度中		本年度末 円	備考
		購入額 円	使用額 円		
郵便切手類	41,720	115,890	110,330	47,280	
収入印紙	—	—	—	—	
合計	41,720	115,890	110,330	47,280	

イ タクシーチケットの受払状況
(平成26年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
27枚	1冊 30枚	27枚 49,540円	30枚

(3) 債権 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成26年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	生徒用複写機設置	鳥取市江津260	0.64㎡	H25.3.29	H19.4.1	H25.4.1 ～ H26.3.31	月額・年額 免除	免除	鳥取市江津260鳥取看護専門学校内 鳥取看護専門学校後援会長		
合計											

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	借受期間	契約の状況		借受先		備考
							単価	借料(円) 本年度の借料	住氏名	所名	
土地	宅地	学校敷地	鳥取市江津260	668.80㎡	有	S54.7.20 ～無期限	無料	無料	鳥取市江津730 中央病院長		
合計											

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成26年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格 (円)	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備 考
							売却 の別	売却方法 ・売却理 由	処 分 年月日	売却額・ 処分費用 (円)	
ノートパソコン	1	平17.5.20	6年	142,800	25.9.2	修理不能	売却	売却不可	26.3.27	0	
プリンター	1	平9.6.23	5年	53,340	25.9.18	修理不能	売却	売却不可	26.3.27	0	
合 計	2			196,140						0	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

2.2 当該年度における業務の概要（実施状況及び運営等で特に努力した事項、並びにその成果等を具体的に記載すること）

- (1) 教育内容の充実
主な事業に関する調べに記載のとおり
- (2) 看護師国家試験対策の強化
主な事業に関する調べに記載のとおり
- (3) 学生の確保及び学生支援体制の強化
主な事業に関する調べに記載のとおり
- (4) 県内就業の促進
主な事業に関する調べに記載のとおり

2.3 学生の入退学等移動状況調べ

(単位：人) (平成26年3月31日現在)

区分	入学進級 直後の 学生数	月別異動状況														差引 現在数	備考	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計				
看護学科 第一学年	休学																38	
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
第二学年	休学																37	
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
第三学年	休学																44 (進級未認定者2名)	
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
合計	休学																119	
	退学																	
	復学																	
	除籍																	

2.4 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (平成26年3月31日現在)

区分		就職						進学	その他	合計	備考	
		県内			県外							
		公的医療機関	民間医療機関	その他	公的医療機関	民間医療機関	その他					
看護学科	平成23年度	21	0	0	4	2	0	27	6	0	33	
	平成24年度	25	10	0	3	2	0	40	4	2	46	
	平成25年度	29	1	0	3	2	0	35	6	1	42	

2.5 教育計画とその実績

(単位：時数) (平成26年3月31日現在)

学科名等	基準	第一学年		第二学年		第三学年				
		計画	実績 A	計画	実績 B	計 A+B	計画	実績 C	計 A+B+C	
看護学科	第一学年	学科	945	1,001						
		実習課程	45	45						
	第二学年	学科			900	942	1,943			
		実習課程			180	180	225			
	第三学年	学科					1,938	135	148	2,091
		実習課程					354	810	810	1,035

*基準欄の数値は学則で定めた時間

2.6 主な施設の整備状況調べ

(平成26年3月31日現在)

施設名	取得・造成。新築・ 改築・修繕等の別	面積又は数量	取得等の年月日・ 工事期間	金額	備考
研修室雨漏修繕費	修繕	1式	H25.12.21 ~H26.2.17	340,200円	福祉保健課
冷暖房設備改修工事	改築	1式	H25.5.8 ~H25.9.20	36,647,100円	営繕課へ担当替 して執行

○意見、要望等

1 専任教員の定員増を行なう

保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づく養成所の指定基準では専任教員の数は8人以上と定められ本校の定数は最低数の8人である。しかし、実習施設の拡大や学習指導に多大な時間を要する学生が増加し、現人数での対応は限界に至っている。

さらに、出産、子育て時期の職員の割合も多く、ここ数年、常に産前・産後休暇、育児休業の取得者がいる。また、育児休業復帰後も、育児時間、育児部分休業の制度を活用でき、子育てのしやすい職場にする必要がある。

平成25年度は、新たに非常勤講師1名の採用が認められたが、今後は定数化されることをお願いしたい。